



小碓橋～子飼橋付近

流れの急な中流部から熊本市の中心部へとつながる区間です。河道は蛇行しながら流れ、子飼橋付近左岸、熊本大学前、熊本厚生病院前などの水当り(湾曲)裏側には洲が発達して、水辺へなだらかな斜面をつくりだしています。この自然がつくりだした斜面を保全して、水辺に近づきやすい空間を守ります。川幅の余裕がある場所では、自然再生を図るのに合わせて、子どもたちが安心して遊べる水辺づくりを考えていきます。また、黒髪都市緑地や白川大江新屋敷緑地を多目的に活用空間として保全します。



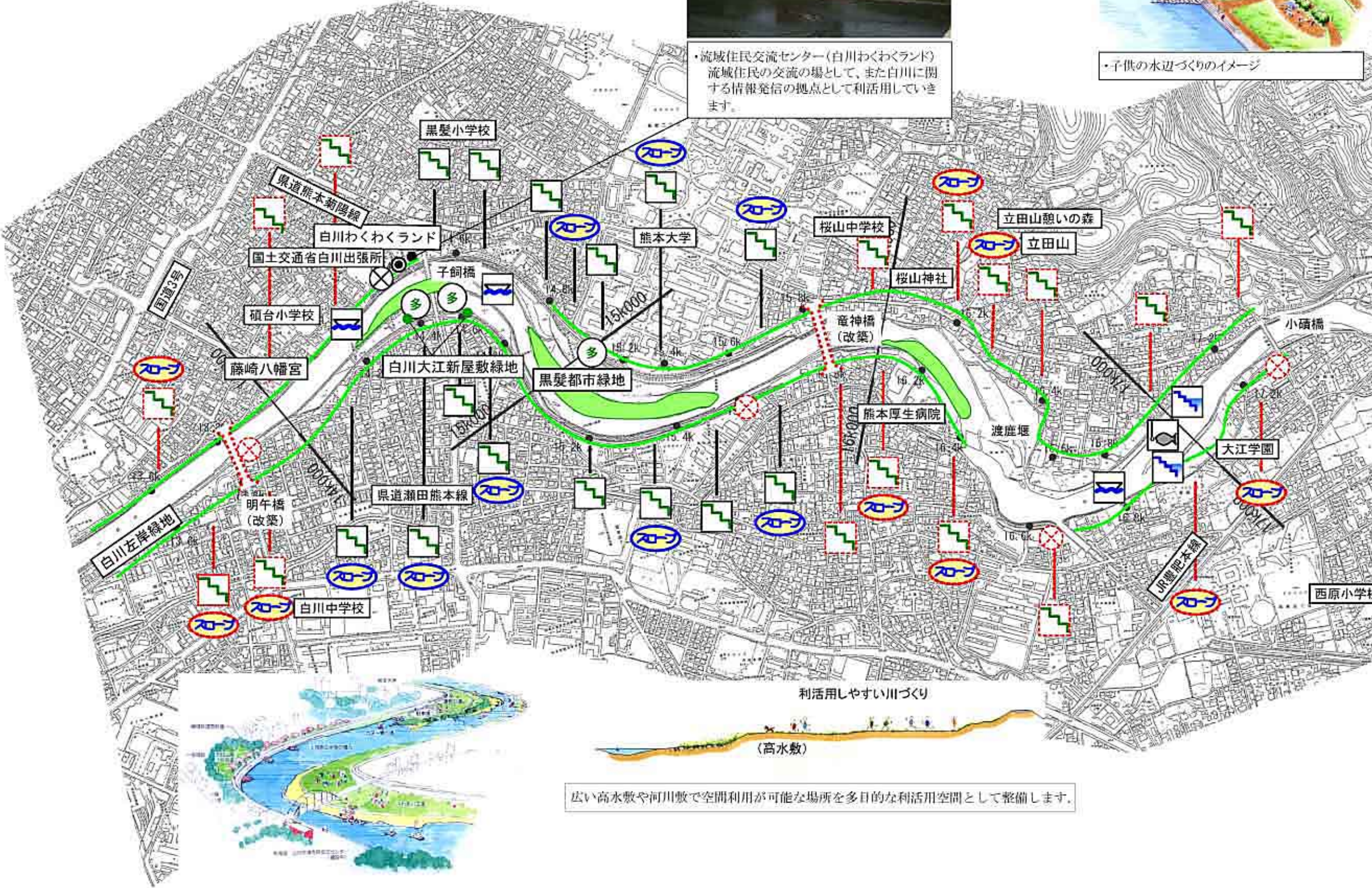
・流域住民交流センター(白川わくわくランド)流域住民の交流の場として、また白川に関する情報発信の拠点として活用していきます。



・子供の水辺づくりのイメージ

住民の主な意見の反映

多数寄せられた意見の集約	特に具体的な意見
広い年齢層や身障者にも利用できるような整備	大江学園辺りを視地帯風に造って欲しい。祭遊と遊べる様に。
みんなが集える場所に	子飼橋付近の河川敷に、外灯が欲しい。バーベキューなどができる場所が欲しい。子飼橋の下でも夏に小規模ながら花火大会をしてほしい。黒髪地区は公園が全くないので散歩道くらい作ってもらいたい。車で川辺まで降りれるところを作って欲しい。
環境教育や情操教育の場となるような整備	水辺公園などの施設があり、水に親しめ、また、水資源や川についての情報が得られる場があればと思う。
(子ども)安全に遊べる場を整備して欲しい	無大の裏の川に沿った道の白川番場の前の土の道は、夏は草がいっぱい茂っているのでもいつも歩いていけるように刈ってください。小碓橋近くの河原は犬の散歩が多く、糞の後始末ができていないのでたまに子供と遊びに行っても汚いというイメージが残ってしまう。



凡例

図記号	解説	備考
洲の保全(水辺づくり)	水辺に近づきやすい空間として現状の洲を保全します。	植生を行うことで、多様な生息空間とすることも考えられます。
多目的広場	黒髪都市緑地、白川大江新屋敷緑地を多目的広場として保全します。	
ボート遊び場	地盤の水深が大きく、平常時に水位がゆるやかに流れる場所でボート遊び場として使える場所です。	利用者の責任でマナーを守って遊ぶ必要があります。
スロープ階段	堤内から白川へ近づくためのスロープが階段を設置します。	おおむね200mに1ヶ所位の割合で設置します。
階段護岸	ボート遊びなどの親水の場として使える施設です。	利用者の責任でマナーを守って安全に遊ぶ必要があります。
魚釣場	魚釣場として使える場所です。	
サイクリングロード	高水敷や堤防天端を利用して、サイクリングロードや散策路として整備します。	道幅を広く確保でき、周辺の利用の仕方を考慮の上、安全性を確保できることではサイクリングロードをそれ以外のところでも散策路を整備します。整備にあたっては、地域や自治体と調整しながら取組みます。
散策路		
監視カメラ	利用施設に異常がないかを監視します。	現地でのパトロールと併用して監視します。
橋梁の改築	洪水高下の阻害となっている橋梁を改築します。	

利用しやすい川づくり



広い高水敷や河川敷で空間利用が可能な場所を多目的な活用空間として整備します。

河川整備計画図(利活用)